

平成20年

8月23日(土) ~ 10月19日(日)

鉄道発掘物語

写真パネル展も同時開催!!
駅長たま(和歌山電鐵貴志駅スーパー駅長)

展示内容

I. 鉄道発掘物語—鉄道の考古学

1. 掘り出された鉄道
吹田操車場跡・竜華操車場跡ほか
2. 掘り出されたトロッコ
禁野火薬庫跡・下池田遺跡
3. サボ(行先案内板)の考古学
4. 汽車土瓶の考古学

II. 阪和線物語—阪和線ふらり散歩

1. 阪和線の歴史
2. 駅スタンプでめぐる阪和線

III. 鉄道あれこれ物語

1. 鉄道のおもちゃ
2. 懐かしの駅スタンプ
3. 明治時代の暮らし





ブリキのおもちゃ(大阪府立大型児童館ビッグパン)



汽車土瓶(甲賀市教育委員会)

鉄道発掘物語

明治五(一八七二)年、明治政府は近代化政策の一環として交通網の整備を進め、新橋(東京都)―横浜間で、日本初となる鉄道の正式営業を開始しました。それからおよそ二〇年後、その起点の一つであった「新橋停車場」が、汐留遺跡(東京都)の発掘調査によって姿を現し、往時の姿がまさに手に取るように明らかとなりました。

関西では、明治七(一八七四)年、大阪―神戸間での営業が開始されました。

大阪でも電車操車場跡(久宝寺遺跡・八尾市)や吹田操車場跡(吹田市)で行われた発掘調査で、レールが敷かれていた軌道敷が見つかっています。また、近年では、禁野火薬庫跡(禁野本町遺跡・枚方市)や下池田遺跡(岸和田市)からトロッコのレールや枕木が見つかっています。禁野火薬庫跡のレールは旧陸軍の砲弾などの軍事物資を、下池田遺跡のレールは煉瓦を作るための粘土を運んでいたことがわかっています。

今回の展示では、大阪府下の「掘り出された鉄道」を紹介し、日本の近代化に鉄道が果たした役割を垣間見たいと思います。

また、出土品のみならず、関係諸機関の協力を得て、弁当の掛紙からおもちゃに至るまでの身近な品々や和歌山電鐵貴志駅の「駅長たま」を紹介するコーナーを設け、鉄道をめぐる今と昔の物語をつむいでみたいと思います。



禁野本町遺跡で見つかったトロッコの枕木

◆ 歴史セミナー(1階ホール)

- 1 8月31日(日)
「汽車土瓶の考古学―駅弁とお茶の文化史」
畑中英二(財団法人滋賀県文化財保護協会)
- 2 9月15日(月・祝)
「電車ができるまで」
平井彰一(鉄道研究同好会(川崎重工業株式会社))
- 3 9月21日(日)
「近代化遺産の魅力―鉄道構造物を見る」
石田成年(柏原市教育委員会)
- 4 10月12日(日)
「鉄道の考古学」
駒井正明(財団法人大阪府文化財センター)
時間：午後2時～4時
(受付は午後1時30分から、午後0時30分から整理券配布)
定員：170名(申込不要 先着順)

◆ ワークショップ(地階セミナールーム)

- 「ナンバープレートのストラップを作ろう!」
日時：8月30日(土) 午後2時～3時30分
(受付は午後1時45分から、午後0時30分から整理券配布)
定員：20名(申込不要 先着順)
参加費：無料

◆ 鉄道模型走行デモ(1階サロン)

- 日時：10月5日(日) 午前9時30分～午後4時
協力：近畿大学文化会鉄道研究会

◆ エンジン式電車「和泉総号」に乗ろう!

- 日時：9月27日(土) 午前10時～午後4時
参加費：無料
協力：大阪府立和泉総合高等学校



トロッコレール・犬釘・藁ぎ目板
(禁野本町遺跡)



トロッコレールと枕木
(下池田遺跡)



MAP
〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27
TEL.0725-46-2162



JR 阪和線「信太山」駅下車
西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車
東へ約1,500m
国道26号線
「池上町」交差点南西角
P普通車72台(無料)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：毎週月曜日
(ただし9月15日(月・祝)・10月13日(月・祝)は開館し、9月16日(火)・10月14日(火)が休館)
入館料：一般400円、65歳以上・高大生300円
*中学生以下・障害者手帳をお持ちの方との介助者1名は無料、20名以上の団体は2割引

大阪府立弥生文化博物館
http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/
〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27 TEL.0725-46-2162



駅長たま(和歌山電鐵)